

大阪高等学校弓道春季大会兼インターハイ・近畿大会代表決定戦 報告

6月8日(土)・9日(日)に、大阪高等学校弓道春季大会兼インターハイ・近畿大会代表決定戦が行われました。5月11日(土)・12日(日)の1次予選を通過した男子団体と男子個人3名(顧問推薦1名を含む)と、顧問推薦の女子個人1名が出場しました。

6月8日(土)は、個人代表決定戦です。3立12射6中以上が、4, 5立ち目に進出し、総的中数で順位を決定します。本校男子3名(3年島本、2年樋田、廣橋)のうち、島本、樋田の2名が4, 5立ち目に進出しましたが、的中が伸びず、2名とも20射12中止まりで入賞を逃し、インターハイ、近畿大会の出場権をとることができませんでした。

女子は1名(3年中尾)の参加でした。前半の3立は、12射6中でぎりぎり通過でしたが、後半頑張り、8射6中として合計12中となりました。しかし、9, 10位の順位決定競射にあと1本足りず、10位までに与えられる近畿大会の出場権を逃しました。



男子個人戦



女子個人戦

6月9日(日)は、団体代表決定戦です。5月の1次予選を通過した13校で再度予選を行い、上位5校で、決勝リーグ戦を行います。本校は、5人団体で2立計40射の予選を10中、13中の計23中と今ひとつの的中でしたが、並み居る強豪校に割って入り、5位決定競射に残りました。英真学園、西高校、大阪星光学院の3校で、残り1枠を争いました。競射1本目、英真3中、西高校3中、大阪星光学院1中で、まず大阪星光学院が脱落、競射2本目、英真3中、西高校3中で、決着付かず3本目へ。競射3本目、英真2中、西高校1中で、見事英真学園が決勝リーグ戦に進出しました。

決勝リーグ戦は、初めて経験することばかりでしたが、とにかく、相手を意識せずに自分たちの力を出し切るように、自分たちの実力通りの的中が出せるようにだけを考え試合に臨みました。結果は、予選をトップで通過した汎愛高校に奇跡的に勝利しましたが、その他は全く歯が立たず完敗でした。結局1勝3敗で4位という成績でした。しかし、4位という結果よりもリーグ戦4試合での的中が余りにも低かったことのほうが残念でなりません。生徒達は、初めて経験するリーグ戦という緊張感の中で、普段の力を100%出し切ることがどれだけ難しいかを改めて実感したのではないのでしょうか。

今回は3位までに入れば近畿大会の出場権が取れただけに、4位という結果は残念でなりません。試合前の練習での的中や、厳しい練習をやり抜いた自信から、勝ち負けを意識できるだけの地力が付いてきたことを実感し、密かに「3位」を狙っていただけに、やはり悔しいです。でも、リーグ戦での他校を見て冷静に考えてみると、上位3校との実力差は歴然としていました。まだまだ実力不足です。

今まで試合で負けてもあまり悔しがるそぶりを見せなかった生徒達も、今回はかなり悔しかったようです。「あれだけ練習したのに、なぜ勝てなかったのか」という気持ちが強いのではないのでしょうか。どれだけ頑張っても「結果」が出ないことはいくらでもあります。でも確実に「成長」はしています。ここで努力することをやめたら何も残りません。このまま練習を続けて、次の試合で「結果」を自らの手で勝ち取ろう。次の試合に向けて、また練習です。



男子団体予選



男子団体決勝リーグ戦

『努力によって、「成功」は保証されていないけれど、「成長」は保証されている。』